

令和8年3月25日14時00分
近畿地方整備局
和歌山河川国道事務所

国道42号 しみず冷水拡幅・ありだかいなん有田海南道路の整備効果 ～交通の円滑化・救急アクセスの向上・観光の活性化～

国道42号 しみず冷水拡幅(延長1.1km)のうち、かいなん海南市冷水～しみず冷水間(延長0.4km)および、ありだかいなん国道42号 ありだかいなん有田海南道路(延長9.4km)のうち、しみず海南市下津町小南～しもつちようこみなみ海南市冷水間(延長2.9km)が、令和7年6月7日に開通しました。

この度、開通後における交通状況の変化に加え、交通の円滑化、救急搬送のアクセス・安定性の向上、さらに観光の活性化の観点から整備効果を取りまとめました。

■開通による主な整備効果

【1. 交通の円滑化】

- ・国道42号(現道)の **約3割の交通が冷水拡幅・有田海南道路に転換**
- ・国道42号(現道)小南交差点の **渋滞が緩和**
小南交差点有田市行の最大渋滞長 開通前670m ⇒ **開通後160m**
- ・国道42号(現道)小南交差点～冷水交差点の **平均旅行速度が向上**
有田市行 開通前26km/h ⇒ 開通後34km/h **約3割向上**
海南市行 開通前42km/h ⇒ 開通後46km/h **約1割向上**
- ・藤白交差点～有田サンブリッジ南詰交差点間の **時間信頼性が向上**
所要時間のばらつき 開通前約10分 ⇒ 開通後約6分 **約4分短縮**

【2. 救急搬送のアクセス・安定性の向上】

- ・藤白交差点～有田サンブリッジ南詰交差点までの **所要時間が約2分短縮**
- ・小南交差点～冷水交差点走行時の **横揺れ発生件数が約7割低減**

【3. 観光の活性化】

- ・道の駅「海南サクアス」への **月平均来場者数が、約3,000人増加**
- ・観光時期となる8月・11月の売上額が**約4割増加**するなど、地域の観光活性化に貢献

<取 扱 い>

<配 布 場 所>

近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、和歌山県政記者クラブ
和歌山県政放送記者クラブ、和歌山県地方新聞記者クラブ

<問 合 せ 先> 国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所

副所長 こうの ひろし 鴻野 宏志 (内線 206)

計画課長 むらかみ ともや 村上 智哉 (内線 261)

TEL 073-424-2471(代表)

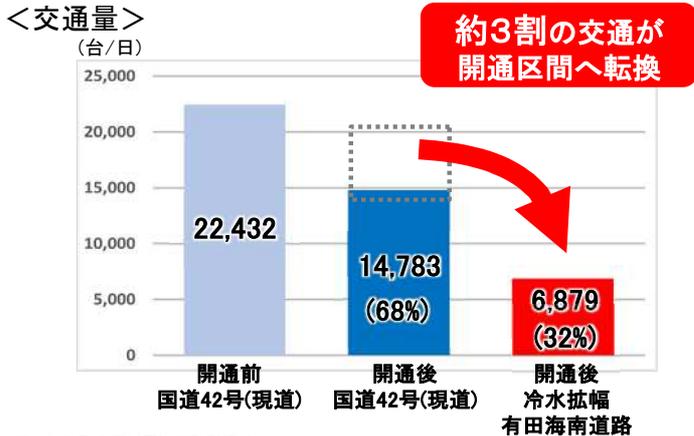
1. 交通の円滑化

- 冷水拡幅・有田海南道路は、平日約6,900台/24hの車両に利用され、並行する国道42号(現道)の約3割の交通が転換。
- 国道42号(現道)では小南交差点の交通渋滞が緩和し、旅行速度が向上。
- 交通渋滞の緩和により、藤白交差点～有田サンブリッジ南詰交差点間の時間信頼性が向上。



(1) 交通量の変化

【断面交通量の変化】



【交通量】和歌山河川国道事務所調べ
 開通前: 令和7年2月19日(水)～2月20日(木) (7時～7時): テレホンパーキング前
 開通後: 令和8年1月21日(水)～1月22日(木) (7時～7時): テレホンパーキング前、海南市小南

(2) 渋滞の緩和

【最大渋滞長の変化】

＜小南交差点 有田市行＞

小南交差点 有田市
行きの渋滞が緩和

【開通前】 670 m

【開通後】 160 m



【渋滞調査、撮影】和歌山河川国道事務所調べ
 開通前: 令和6年7月9日(火) (7時台) 開通後: 令和8年1月21日(水) (7時台)

(3) 旅行速度の向上

【旅行速度の変化】

＜国道42号(現道) 小南交差点～冷水交差点＞



出典: ETC2.0プローブデータ
 開通前: 令和6年6月～令和7年1月の平日 開通後: 令和7年6月～令和8年1月の平日

(4) 時間信頼性の向上

【所要時間の分布】

＜藤白交差点 ⇒ 有田サンブリッジ南詰交差点＞

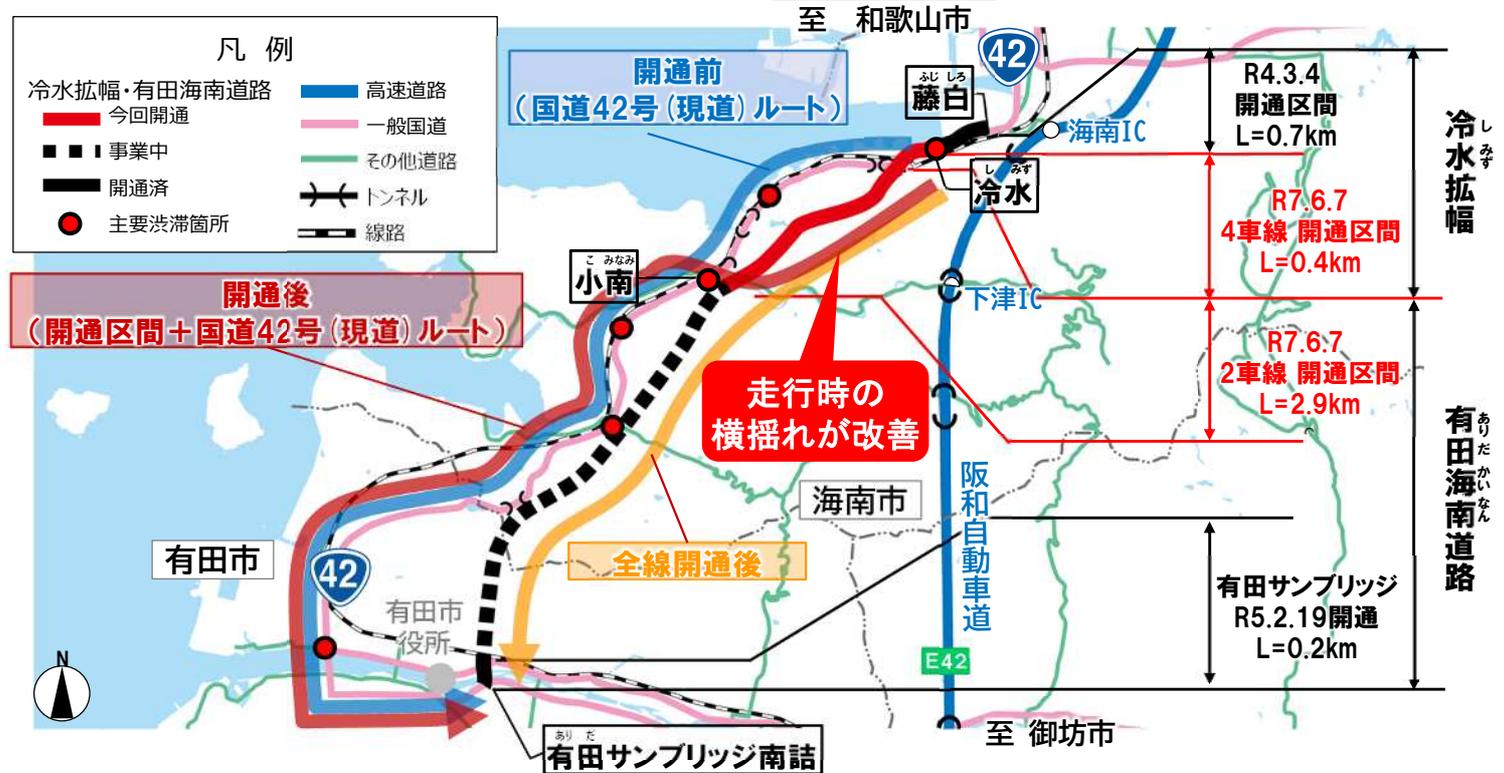


出典: ETC2.0プローブデータ 朝混雑時
 開通前: 令和6年6月～令和7年1月の平日 (7時台) 開通後: 令和7年6月～令和8年1月の平日 (7時台)

2. 救急搬送のアクセス・安定性の向上

○今回の開通により、冷水交差点～有田サンブリッジ南詰交差点間の**ピーク時間帯の所要時間が約2分短縮**。全線整備後はさらなる所要時間の短縮が期待される。

○冷水拡幅・有田海南道路を經由するルートでは、開通前の国道42号(現道)に比べ走行時の**横揺れの発生件数が約7割低減**され、救急搬送等の安定した走行に寄与。



(1) 所要時間の短縮

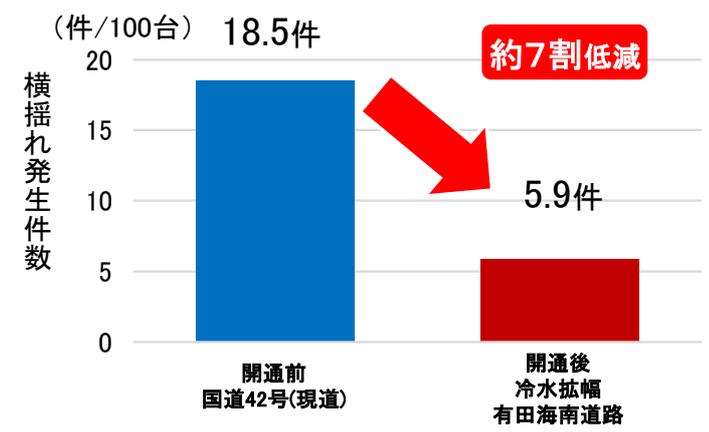
<藤白交差点⇒有田サンブリッジ南詰交差点(有田市行)>



出典：ETC2.0プローブデータ 朝混雑時
 開通前：令和6年6月～令和7年1月の平日(7時台)
 開通後：令和7年6月～令和8年1月の平日(7時台)
 有田海南道路の未開通区間は設計速度：60km/hで算出。

(2) 走行時の横揺れの改善

<小南交差点～冷水交差点>



出典：ETC2.0プローブデータ 開通前：国道42号(現道) 令和6年6月～令和7年1月の平日
 開通後：冷水拡幅・有田海南道路 令和7年6月～令和8年1月の平日
 ※横揺れ発生件数：0.25G以上の左右加速度を対象に集計

(3) 道路利用者の声

消防関係者の声

- ・和歌山市方面へ救急搬送する際、国道42号(現道)は海沿いのため**カーブが多く横揺れが発生**するため、患者への負担が生じます。
- ・冷水拡幅・有田海南道路を通ると、以前より搬送時間が短縮され、**横揺れが少なく、患者への負担が軽減**されるものと思います。



海南市消防本部

事業の概要

国道42号有田海南道路は、有田市野から海南市冷水までの延長9.4kmのバイパス整備事業であり、冷水拡幅は、有田海南道路と接続する海南市冷水から海南市藤白までの延長1.1kmの現道拡幅事業です。

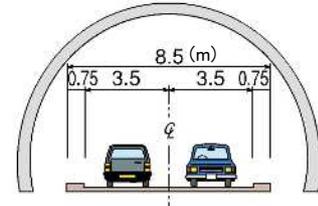
当該事業は国道42号現道の「渋滞の解消及び所要時間の短縮」「災害時の交通機能の確保」「交通事故の減少」などを目的とした道路です。

○開通概要と事業経緯

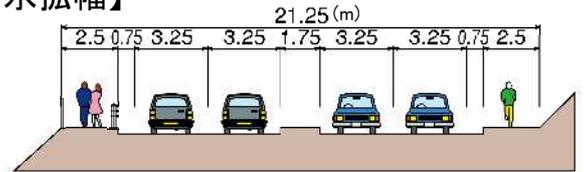
	有田海南道路	冷水拡幅
区間	(起) 和歌山県海南市下津町小南 (至) 和歌山県海南市冷水	(起) 和歌山県海南市冷水 (至) 和歌山県海南市冷水
道路延長	2.9km	0.4km
構造規格	第3種第2級	第3種第2級
車線数	2車線	4車線
標準幅員	8.5m	21.25m
事業化	平成20年度	平成19年度
用地着手	平成23年度	平成21年度
工事着手	平成27年度	平成23年度

○開通区間の標準断面図

【有田海南道路:トンネル部】



【冷水拡幅】



【拡大図】



【位置図】



凡例	
今回開通区間	—
事業中区間	⋯⋯⋯
一般国道	—
高速道路	—
開通済区間	—